

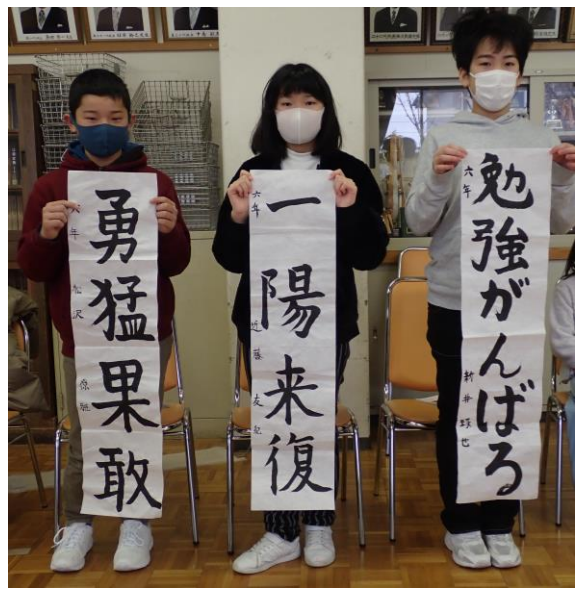
失敗をおそれず、全力で一つのことに向かっていこう！



冬休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。1月は「いってしまう」2月は「にげてしまう」3月は「さってしまう」と言われます。46日間の3学期もきつと、あつという間に過ぎていくことと思います。子どもたちが1日1日を大切に過ごしていられるよう努めてまいります。3学期も保護者の皆様

のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

始業式では、4・6年生の代表者が3学期の目標を発表しました。4年松組の山根徹さんは「あいさつを笑顔ではっきりしたい。」竹組の佐藤志帆さんは「音読をたくさんし、すらすらと読めるようにしたい。」6年松組の新井琢也さんは「中学校に向けて、文章を丁寧に読んでいくことをがんばりたい。」竹組の近藤友紀さんは「『一陽来復』よくないことがあっても、心折れずに頑張っていきたい。」梅組の松沢僚雅さんは「『勇猛果敢』何事も、おそれず思い切って実行していきたい。」と3学期の目標を発表してくれました。校長先生からは、次のようなお話がありました。



《校長講話》

2021年（令和3年）新しい年を迎えました。明けましておめでとうございます。

コロナ禍のなか、「今まで当たり前と思っていたことが、実は当たり前ではなかった。当たり前でできることは、とても幸せなことだった。ひとつのことは、多くの人がかかわり、多くの人支えて成り立っていた。」ということを実感した一年でした。

学校が毎日あるということ。友だちに会えるということ。友だちと勉強できるということ。友だちと一緒に遊べるということ。友だちとけんかできるということ。友だちとひとつのことに向かって頑張れるということ……。こんな日常の幸せを噛みしめながら、「いま、ここ」を精一杯生きてほしいと思います。

先日、ある先生から、こんなメッセージが届きました。

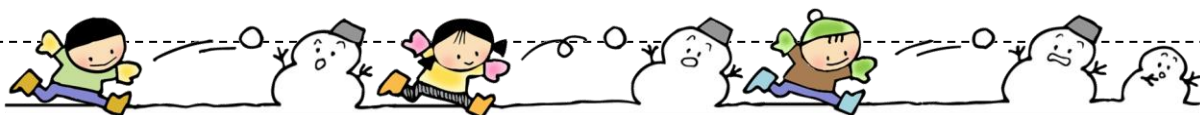
「恥じることなく、全力で、空振りをしようじゃないか！」

私は、大学までずっと野球をやってきました。空振りの三振をしたことは数えるほどしかありませんでした。三振をすることは恥ずかしいことだと思っていました。三振をすると監督にも叱られました。だから、ツーストライクになると、カーブバットを振らずに、何とかボールに当てようと思いました。空振りは、私にとって、恥でした。三振をするのが怖かったのです。

「恥じることなく、全力で、空振りをしようじゃないか！」

この言葉をもらい、何か気が楽になりました。野球に例えましたが、人生も同じではないでしょうか。空振りは恥ずかしいことじゃない。全力でぶつからないことの方が恥ずかしいことだな。その結果、空振りでもしょうがない！

3学期がスタートしました。失敗をおそれず、結果にうろたえず、全力でひとつのことに向かっていきたいと思います。



ことばの教室の新しい先生です。

ことばの教室の担任、高橋有希先生が、2学期末をもって退職いたしました。3学期より山邊恵美先生が担任することとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

屋代安全安心ボランティアの募集について

屋代小学校には登下校の安全の見守りをしていただいている「見守り隊」「お散歩隊」というボランティア組織があります。毎日子どもたちの登校時刻や下校時刻に合わせて通学路であいさつや安全指導をしてくださっています。今年度は約20名のボランティアの皆さんが活動してくださり、大変有り難く思っております。ですが、ボランティアさんの人数が減少しているのが実情です。そこで、子どもたちの安全を見守っていただけるボランティアさんを募集したいと思います。毎日でなく、できるときだけでもOKです。ご協力いただける方は、学校までお知らせください。よろしくお願いいたします。



(連絡先：屋代小学校：273-0037 担当：教頭・春原 美佐子)

☆休日(土日)に、児童およびご家族がPCR検査を受けることになったり、濃厚接触者になったりした場合には学校へご連絡をお願いします。その他、新型コロナウイルス感染症について心配なことがある場合にも同様に連絡をお願いします。学校の電話は教頭に転送されるように設定されています。